

令和8年3月31日

松山観光バス株式会社

監査員：田中康行、池田佐保子

業務改善提案書

現在、当社は法令の基準より厳しい内容の管理体制にて運行しているが、今後もこれを維持して安全運行を継続していくためには、慢性的なドライバー不足を解消し、安全運行を継続するためには、現場負担の軽減と職場環境の魅力向上が不可欠です。つきましては、「新型車両の導入」および「業務の平準化」を通じた労働環境の抜本的な改善を提案いたします。

現状と課題	(1) ドライバー不足による過負荷：繁忙時期の連続出勤や長時間拘束の常態化 (2) 業務の集中：業務の都合上、特定の時期に運行が偏る場面が見受けられる (3) 車両の老朽化：車両故障の一因となっている。
具体的要望事項	(1) ドライバー採用のさらなる強化： 採用目標、採用スケジュールを作成し、計画的な人員確保に努める。また「最新設備で安心・安全に働ける環境」をアピールし、若手や未経験者の入社意欲を高める。 (2) 運行の平準化・分散化の推進： 発注者側や旅行会社などへの働きかけにより、毎年固定化している繁忙時期を分散化させ、ドライバーや管理部門の負担軽減を図る。 (3) 新型車両の計画的導入 先進安全装置が標準装備され、車齢も若い車両を導入する事で、事故リスクや経年劣化による車両故障を軽減できる。またAMT（自動変速機）車や高性能シートの採用により、ドライバーの身体的負担を緩和。
期待される効果	(1) ドライバー個々の負担軽減による事故防止効果が期待出来る。 (2) 分散化により余裕を持った勤務シフトが構築され、過労防止に繋がる。 (3) 車両故障・重大事故のリスクの低減・修繕コストの圧縮が期待される。

以上、よろしくご検討をお願いいたします。